



お客様の安全・安心を守る仕事

あかはね
赤羽 圭介さん(下竹田)

アパートにガスを届ける会社、株式会社ガスパルに勤務する赤羽さん。聞き慣れないかも知れませんが、プロパンガス業界では安全を保つ“保安力”の高さで定評があるガス会社です。

『法令遵守したガス設備を構築し、オーナー様の資産である建物とガスを使う入居者様の“安全”を守ります』

危険物を扱うからこそ、点検を怠りません。

(3月13日 アパートのガス設備点検にて)

働く姿
シリーズ



新型コロナウイルス流行

新型コロナウイルス感染症が世界中で流行し、イベントの中止、小中学校などの休校、マスク不足、デマ情報など、混乱が拡がっています。噂やSNSにも様々な情報がありますが、信頼できる情報は何か良く考えて感染症から身を守っていきましょう。

経緯

令和元年

11月・中国武漢で感染症発生

確認

令和2年

1月・世界中に拡散

・日本国内初患者確認

2月

25日・松本保健所管内で患者1名確認。翌日にその

家族1名の感染も確認

26日・山形村新型コロナウイルス感染症対策本部設置

・政府がイベントの自粛、延期、縮小要請

27日・政府が一斉休校を要請

28日・山形村臨時教育委員会

で臨時休校決定

3月

2日・山形小学校(18日まで)、

鉢盛中学校(17日まで)

臨時休校

6日・佐久保健所管内で患者

1名確認

県内計4名※3月18日現在

予対策

・食事と睡眠をしっかりと、手洗い・うがい・咳エチケットなど基本的な感染症対策を行う

相談窓口

次の症状がある方は左記にご相談ください。

①風邪の症状や37.5度以上の発熱が4日以上続く

②強いだるさ(倦怠感)や息苦しき(呼吸困難)がある

※高齢者、基礎疾患がある方、免疫抑制剤・抗がん剤を使用する方、妊婦の方で右記の状態が2日程度続く場合

◎有症状者相談窓口

松本保健福祉事務所

☎0263-40-1939

(24時間対応)

◎一般相談窓口

県庁保健・疾病対策課

☎026-235-7277

または、

☎026-235-7278

(24時間対応)

参照山形村公式ホームページ

おことわり

新型コロナウイルス感染症の影響によるイベント等の中止・規模縮小により、例年掲載している卒業式の掲載がありませんがご了承ください。

子宮頸がん啓発ライブ

2月22日(土)、ミラ・フーードにて辰野町在住の赤羽泉美さんが、フルートと七弦ギター、カバキニーヨによるボサノバライブを行いました。

過去に子宮頸がんの手術を受けた経験から、長野県の77市町村を回りライブをしながら子宮頸がんの予防啓発をしようとした活動です。栄村に続き、第2弾が山形村での開催でした。

コンサートでは、一度は聴いたことのあるような有名な曲や赤羽さんが作曲したオリジナル曲を披露し、訪れた観

客に癒しの音楽を届けました。演奏の合間には子宮頸がんについて自身の経験を交えて分かりやすく語り、観客に検診の大切さを伝えました。



告知板

令和2年度(2020年度)

生涯学習カレンダーの配布について

- 連絡班に加入している世帯
この館報3月号と同時に1部配布します。
- 連絡班未加入の世帯及び企業の方
教育委員会から送付されるハガキと引き換えにトレーニングセンター受付にて無料で1部配布します。
- 追加で購入希望の方
トレーニングセンター受付にて1部450円で購入することができます。

春の分館スポーツ大会中止について

3月17日(火)に行われた公民館分館長会議において、新型コロナウイルスの流行により春のスポーツ大会の中止が決定しましたのでお知らせします。

- ・上大池5/17(日)・中大池5/10(日)・小坂4/29(木)
- ・下大池5/16(土)・上竹田6/14(日)・下竹田5/24(日)

お問い合わせ 山形村教育委員会 ☎98-3155

山すそ

新型コロナウイルスの流行で世界中が混乱しています。皆さんはどのように過ごしていますか▼たくさんの国が一斉休校、自宅待機、外国人の入国拒否などの措置をとり、ウイルスの感染が拡大しないようにしています。そのせいで街にはあまり人がいません。お客さんが来なくてお店をたたむ所もある程です。コロナウイルスに罹って苦しんでいる方、経済的に大きな影響を受けている方などは、今本当に大変な思いをしているかと思えます▼そんな中イタリアでは、自宅待機となった集合住宅のベランダで住民が合唱する光景がテレビで紹介され、さすがラテン人と感心しました。一方日本では、休校の影響で余ってしまった牛乳を使って「蘇」という古代の食品を作って食べるのが一部で行っているようです。研究熱心な日本人らしい▼さて、私は今どうすべきか。本をたくさん読むのでもいいし、マスクを作ってみるのでもいい。免疫力アップの為にランニングをしたり、家庭菜園の準備でも始めようかなと思っています。まずは気持ちで負けないようにしたいですね。

図書館からのお知らせ

4月からの図書館イベント

＊おはなしの会こぐま・こぐまサロン
1才～3才を対象にしたおはなしの会です。絵本の読み聞かせやわらべうた・手あそびを楽しみます。

おはなしの会のあとは、図書館をサロン代わりに、親御さん同士でおしゃべりしていただくさいね。

第1・3木曜日
10:30～11:00おはなしの会
～12:00サロン

＊ぶっく・かふえ
お茶とケーキをおともに、本の話を楽しみます。

第4木曜日 14:00～15:30
持ち物：ケーキ代300円と
飲み物代と本1冊

＊本であそぼ企画のおしらせ
からすのパンやさんのパンづくり

絵本『からすのパンやさん』(かこさとし)に出てくるような楽しいパンを作りましょう。

期日：4月26日(日)
9:00～12:00

場所：いちいの里
定員：20人(幼児は大人と参加してね)

持ち物：エプロン、三角巾
申し込み 山形村図書館
☎98-3155

あなたの本との出会いをお手伝い……図書館便り

BOOK No.46

編集＝山形村図書館

ちくちくクラブ ワークショップ 「フェルトのモビール作り」

2月22日(土)、トレーニンングセンター「めばえの部屋」で子どもと大人18人が手芸を楽しみました。昨年からはじめた「ちくちくクラブ」は、寒い時期にお家で楽しめるものをと企画しました。



今年の講師は、朝日村で羊を飼って、羊毛の作品作りをしている横尾あずささんです。色とりどりに染められた羊毛を針でちくちくと刺して、ボール状にします。どんな色を選ぶかで、それぞれの個性が出ます。5分ぐらい一生懸命刺していると丸い形になってきます。うっかりすると針で手を指し、あちこちで「いたつ」「痛つ」と大合唱。それにもめげず黙々とボール状のフェルトをいくつも作りま

す。クッキーの型などに羊毛を詰めて刺していくと、かわいいハート型や花形のフェルトも作れます。これらと、森で拾ったクルミや松ぼっくりをアレンジして、小枝につるせば、ゆらゆらモビールのでき上がり。
お部屋につるして、コヒータイムを楽しみましょうか？



私のこの一冊

図書館利用者 小林かつ代

『老い、どん!』

樋口 恵子(婦人之友社)



紹介したい本はたくさんあつてどれにしようか迷います。好きな作家は、田辺聖子さんです。平易な文章なのに深い意味が込められていて、あとからじわーと心に響きます。
最近読んで面白かったのは『すぐ死ぬんだから』と『終わつた人』という、いずれも内館牧子さんの作品です。身につまされたり、最近の様子がわかったり、思わぬでんでん返しがあったり、どんだん先を読みたくなる本です。中高年にお勧めです。
また、つい最近の本では樋口恵子さんの『老い、どん!』というエッセイです。自身の経験から老いに向かう心構えが書かれていて、私のこれからの指針として大変参考になりました。

おすすめ新着本紹介

『ぼうさんちゅう』

松岡 篤/監修
(アリス館)

5億年も前に誕生した放散虫の、いろいろな



形の骨を電子顕微鏡で見えます。その姿はまるで雪の結晶のよう?

『貸出禁止の本をすくえ!』

アラン・グラツツ(ほるぷ出版)



9歳の内気なエイミー・アンが落ち着くのは図書室にいるときだけ。でもある日、お気に入りの本が貸出禁止になってしまった! エイミー・アンは愛する本を救おうと立ち上がり…。

『おカネの教室』

高井 浩章(インプレス)



中学2年生になった僕と、大富豪の美少女、謎の大男の3人で始まった奇妙なクラブ。世の中の仕事について考えながら、お金や経済の仕組みをひも解いていきます。

『写真アルバム 松本・塩尻・東筑・木曽の昭和』
小松芳郎・監修(いき出版)



写真をとおして、松本平の昭和時代を振り返ります。思い出の風景を懐かしみ、これからの時代に語り継いでいきたい1冊です。

の思い出の場所～



いっぱいお世話になった 山形小学校の教室 清沢瑛哉	いっぱい学んだ 山形小学校 上藤 暁	毎週野球の練習をしたグラウンド 木田 恭謙	おにっこをやった 山小の前庭 稲垣 拓馬	友だちと一緒に帰った 通学路 赤羽 七帆
友達といっぱい遊んだ通学路 清沢 好	YFPでみんなと共に学習した宝積寺 亀井 菜緒	六年間お世話になった通学路 長村 梨寿	楽しかった大切な山形小学校 岩垂 雄大	お世話になったトレセン体育館 石川 竜



6年1組

担任 横川 晋平 先生

友達といっぱい遊んだ トレセンのじゃんすか 佐野白日葵	休み時間、よく友達と遊んだ 南庄のシーソー 黒木 奏典	友だちと笑いあった トレセンのじゃんすか 藤 ま波	たくさんのお話を聞いた 山形小の図書室 菅野 孔明	みんなと過ごして貰った教室。 藤川 悠陽
友達と一緒に遊んだ トレセン 藤時 愛達	運動会で友だちと協力した校庭 小島 匠士郎	アイシティーで家族や友だちとたくさん買い物をした。 神農 恵生	友達とおにっこをした 思い出のじゃんすか 甲斐 義博	いつもみんなとおにっこをした学校の前庭 大橋 幸潤



6年2組

担任 和田 麻美 先生

サッカーの練習をいっぱいしたふれあいドーム 佐野 虎汰	みんなで遊んだ 友達の家 山形 知香	友だちとあそんだ トレセン 岡田 聖史	図書司書になりうとうとう夢をくみた 山形村図書館 岩佐 天花	みんなで遊んだ 上竹田公民館 栗津 原輝
みんなと一緒に年々からあそんでた トレセン 藤川 竜	親友と楽しく遊んだ トレセン 上藤 暁	浦安の舞を奉納した 小坂諏訪神社 小口 ゆさ	友達とたくさん遊んだ トレセン 大塚 瑛	たくさん友達とあそんだ トレセン 石崎 月花



6年3組

担任 安江 克也 先生



～祝卒業！6年生



このページの枠には、「山形ふるさとプロジェクト（YFP）」で6年生が作成したカルタの絵札を使用しています。自分たちの住む山形村の宝（いいところ）調べの学習に取り組み、現地に足を運び、地域の方からお話を聞いたり、実際に見たりと五感を通じて感じた「ふるさと山形」をカルタにまとめました。トレーニングセンターロビーに、カルタを作る中で調べた資料やカルタを展示していますので、ぜひご覧ください。

<p>毎日学校へ行く時通った 通学路</p> <p>倉井千夏</p>	<p>いろいろなお世話になった 山小グラウンド。</p> <p>堀来斗</p>	<p>三九郎で皆で遊んだ 常会所</p> <p>永原 和航</p>	<p>村の人たちは元気に あいつつとした通学路</p> <p>橋本莉空</p>	<p>毎日 中斎先生においでした 保健室</p> <p>平井 紗久良</p>	<p>勉強を教えてくれた 山形小学校</p> <p>藤沢昂也</p>	<p>ハレーをするために 行った山形の体育館</p> <p>水谷勇子</p>	<p>サカサマの練習でかき話になった サンリングラウンド</p> <p>山室 壮大</p>
<p>遊んで学んだ 小学校</p> <p>清水こころ</p>	<p>六年間お世話になった 山形小学校</p> <p>吉澤 悠月</p>	<p>みんなが遊び勉強も した山形小学校</p> <p>中村 雄大</p>	<p>いっぱい遊んで 学んだ山形小学校</p> <p>巨野 聖</p>	<p>六年間、共に過ごした 山形小学校</p> <p>深沢 もも</p>	<p>毎日通って遊んだり、 学んだり、お世話になった 山形小。</p> <p>古屋 美子</p>	<p>一年生から六年生まで育てて くれた山形小学校</p> <p>巨野 聖</p>	<p>いっぱい鬼ごっこをした 山小の前庭</p> <p>志保 那由</p>
<p>友だちとサッカーをした 山小のグラウンド</p> <p>志保 那由</p>	<p>秋の日友達と一緒に ソノオケの山小の図書館</p> <p>柳野 琢</p>	<p>みんなが遊んだ山小の 前庭</p> <p>吉澤 悠斗</p>	<p>友達とたくさん 泳いだB&Gプール</p> <p>野口 颯太</p>	<p>たくさん本を借りて 読んだ山形小学校の図書館</p> <p>藤岡 治樹</p>	<p>友人とじんずらに行き、 グラウンドへレセン</p> <p>三枝 千晴</p>	<p>長泳げるようになった B&Gプール</p> <p>宮澤 千夏</p>	<p>大好きな音楽の授業 をやった山小の音楽室</p> <p>山下 詩乃</p>
<p>山形小書生さんへ お礼</p> <p>志保 那由</p>	<p>先生といっしょに話した のびのび教室</p> <p>中村 聖</p>	<p>ヒマな時間 友だちと本を読んだ 学校の図書館</p> <p>西取 天</p>	<p>トレセンの元氣回復しない 元氣回復室。</p> <p>星林 優菜</p>	<p>友達と楽しく 話した教室</p> <p>松澤 希実</p>	<p>いろいろな本を読んだ 山形村図書館</p> <p>宮川 智美</p>	<p>冬に友達と一緒にお茶 の会をした。</p> <p>志保 那由</p>	<p>友達とだるまさんが ころんだをした 学校のしばふ</p> <p>山下 ゆな</p>
<p>みんなと アソビ</p> <p>柴 白鳥</p>	<p>みんなが仲良く遊んだ 山形村図書館</p> <p>高藤 華羽</p>	<p>たくさん遊んだ ちびっこ広場</p> <p>日笠 大地</p>	<p>みんなの思い出 でできたB&G</p> <p>藤澤 由菜</p>	<p>低学年のころ、友だちと よく遊んだ、なろう原公園</p> <p>6年生組 山小わか葉</p>	<p>友達とたくさん の練習をした トレセングラウンド</p> <p>本木 魁星</p>	<p>みんなと楽しく プールパジャマの 会</p> <p>柳沢 香穂</p>	<p>みんなと遊んだ 三夜塚公園</p> <p>横山 臨音</p>
<p>良いにおいかなだま おなかすくま</p> <p>給食室</p> <p>清水口 珠喜</p>	<p>文化祭で太鼓をたたいた 山形村図書館</p> <p>花園 心香</p>	<p>みんなが本を読んだ 図書館</p> <p>日原 隼太</p>	<p>寒い時期、体が冷える 中たくさん柔道の練習 をしたトレセンの体育館。</p> <p>古川 天</p>	<p>綺麗だった山形小学校の桜</p> <p>三枝 花恋</p>	<p>みんながひまわり 三層沢川</p> <p>眞 成人</p>	<p>みんなと楽しく プールパジャマの 会</p> <p>柳沢 香穂</p>	<p>みんなと遊んだ 三夜塚公園</p> <p>横山 臨音</p>



山キッチン No.1

家族に評判な家庭の料理を紹介する新コーナー！
記念すべき第1回目に登場していただくのは、曾根原寛さん（下大池）です。



黒くならない
ごぼうのぬか漬け

1. ごぼうを洗い適当な長さ



細いごぼうが
おすすめ☆

2. 水に10分間つけ、アクを取る



アクで水に
色が・・・

3. 沸騰したお湯に30秒 入れる



曾根原さん
こだわりの30秒

4. お湯から取り出し塩も みする



温かいうちに
やるのが
ポイント

5. ぬか床に入れ1日漬けておく



おいしくな～れ♪
おいしくな～れ♪

6. ぬか床から出し、ぬかを洗い流し食べやすい長さに切って盛り付けたら完成！

今回紹介していただいた曾根原さんですが、1年前にまたま家族の方がぬか床を買ってきたのがきっかけで、「ぬか漬け」という趣味がスタートしました。毎日行うぬか床を混ぜる作業も楽しみのひとつになっています。

子どもを育てる

シリーズ ⑮

子どもたちが 失ったもの

今、子どもたちが夢中でやっているTVゲームを皆さんはご存じでしょうか？人と人とが殺し合い、自分ひとりが生き残ることを目的としたオンラインゲームが小学生の間で流行っているのです。何年か前に同じ内容の映画が公開され、私はフィクションとはいえ恐怖を感じたことを思い出しました。そんな「殺し合いゲーム」に音声も繋いで言葉を発しながら楽しんでる子どもたち。……どんな言葉を言いながら人を殺して遊んでいるのでしょうか？想像しただけでも怖くなります。

私が子どものころは、「ファミコン」が開始された頃でしたが、学校から帰ると直ぐに家を飛び出し、近くの神社や公園などで遊んだものです。その遊び場には自然と子どもが集まり、自分たちで遊びを考え、うまく楽しめない場合はルールを変えてみたりと、集まった仲間と知恵を出し合って毎日楽しく遊んでいました。また、夏休みには地区対抗のソフトボール大会が開催されていましたので、その練習も良い思い出です。6年生がリーダーとなって全体の指揮を執り、4・5年生は中間管理職の役割で下級生の面倒をみながら優勝目指して練習をする。そこに大人の出席はありません。大人が出なくても、チームが出来上がっていました。今考えると、勝手に「社会勉強」をしていたのだと思います。

最近、外で遊ぶ子どもを観なくなりました。少子化問題もあるのですが、TVゲームやスマートフォンゲームが今の子どもの「遊び」になってしまったのではないのでしょうか？しかも人と人が殺し合うゲームが流行っている始末……。

「覚えた知識がどんどん更新されていく時代に、ただ知識を持っているだけでは通用しない」と文部科学省は指摘しているようです。詰め込んだ知識で評価されていた時代は終わり、「知識を使う力」が問われる時代になってきています。（言うまでもありませんが、「人の殺し方」の知識や使う力なんて要りません）

AI（人工知能）が発達し、今の小学生のほとんどが、今はない職業に就くと言われていきます。今ある仕事はほとんど残らないのです。そんな時代を生きていかなければならない子どもたちに、今のうちに経験させたものは何でしょうか？失敗したり、嫌にならばリセットが出来るゲームでしょうか？私は、子どもたちがそんなものしかやってこなかったら、これからの時代を「生きていく力」を持っていないと思うのです。

私は、子どもたちには周りの状況を見て、自ら考え、判断し、行動するトライ＆エラーを繰り返して、自立した人間になって欲しいと願っています。子どもたちが失ったもの……それは、生きていく力を育む「仲間」「時間」「空間」なのではないでしょうか。それを作ってあげるのが大人の役目だと思えます。

さあ、大人の出席です！



(敬称略)



おめでた(子・親)

- 武田 結和・和也 下竹田 結希
- 本庄 悠真・俊則 上竹田 桂子
- 竹内 椰・環 下竹田 由実
- 岩井 愛海・健司 上大池 愛里
- 上條 心響・博之 中大池 光子
- 村上 瑠泉・俊介 下竹田 泉紀
- 安部蒼ノ介・慎太郎 中大池 彩
- 山崎 柰華・勝 上竹田 ゆか
- おくやみ
- 中村 睦子 92歳 上大池
- 古畑三五一 91歳 上大池
- 中村 一行 85歳 中大池
- 三枝 公夫 100歳 下竹田
- 上條みさた 99歳 中大池
- 大池 久子 98歳 中大池
- 中村千代子 89歳 上大池



公民館と館報への想い

～公民館役員を経験して～

3月の
声

編集部 上條 雄嗣 (中大池)

まず始めに、村民の皆さまには、「館報やまがた」の編集に当たり、日頃より取材などにご協力いただいていることに感謝申し上げます。

私の公民館への関わりは、分館社会部の役員となったことが始まりです。当時の分館役員のみなさんは分館活動を楽しんでいる方が多く、山形村に戻って間もない頃でしたが、地域の方々のつながりが強い地元をうれしく思いました。我が常会の分館役員は2期4年がノルマで、2期目は本館社会部員にもなり、夏祭り山形じゃんずらでの生ビール販売、文化祭での社会部食堂など楽しかったことを思い出します。

その当時の公民館主事は現在の根橋教育長で、館報707号の「声」でも語っている、「公民館は面白い。なんていったって、いろんな人たちと交わり、そこに学びがあるし、自分自身うんと活性化できる」と話していたことを覚えています。この言葉が今でも心の片隅に残り、公民館活動を大切に思う気持ちにもつながっています。

館報の製作に携わる編集部員になったのは、当時の公民館主事と編集部長が中学校の野球部の先輩であり、勧誘に対して断

るという選択肢はなかったこと(笑)と、自分自身も館報が好きだったこともあり引き受けることに決めました。部員1年目に、館報70号記念号の編集にも携わることができたのは貴重な経験で、編集部であることの誇りと責任感を持つきっかけにもなりました。SNS全盛時代で多くの情報が簡単に手に入りますが、館報の楽しみ方として、最新号を読むことだけでなく、バックナンバーを読み返すことをお勧めします。白黒紙面のアナログ媒体で、当時を懐かしむことも面白いですよ。

社会教育法における公民館の定義の中に「住民のために、生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、住民の教養向上、健康の増進などを図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする」とあります。そうです、公民館活動こそが地域づくりなのです。選ばれると大変だと思う「役」もやってみれば決して「厄」ではないですよ。

地域のつながりを大切に、山形村が今後も発展していくためにも、公民館活動が充実し続けていくことを願います。

2月号特集の補足

2月号で道祖神巡りのパンフレットの中から双体道祖神21基をご紹介します。これは、明治の時代以前に建立された道祖神20基と平成の時代に建立した道祖神7基のうち、代表的な1基を含めて21基と記載しております。村内には双体道祖神のほかに文字道祖神も含めて40基の

道祖神が人々を見守っています。平成29年には、山形村史談会が県の元気づくり支援金を活用した写真集を発刊しています。山形村図書館にて貸出も行っていただけます。この機会に心に触れてみてはいかがでしょうか。



三・系車

① 「系車」は、平成2年から平成18年まで刊行されていたふるさと伝承館の館報です。この度、館報やまがたのスペースをお借りして「三・系車」として復活し、ふるさと伝承館の活動を紹介することとなりました。第1号となる今回は、所蔵する資料の種類ごとにご紹介します。

〈考古資料〉

土の中から見つかった土器や石器などのことを考古資料と呼びます。村内遺跡の発掘調査等で得られた考古資料は、ふるさと伝承館の収蔵庫で保管しています。



〈民俗資料〉

人々が使った生活の道具などのことを民俗資料と呼びます。ふるさと伝承館では、村内で収集した民俗資料を約2,900点所蔵しています。



〈歴史資料〉

山形村の歴史を記した古文書などのことを歴史資料と呼びます。紙でできた歴史資料は、温度や湿度を管理した収蔵庫で保管しています。



サンボ にかける

2020プーチン大統領杯 第46回全日本サンボ選手権大会 男子スポーツ68kg級 優勝

至学館大学健康科学部
健康スポーツ科学科 1年

大塚 翔斗しょうとさん (下大池)



サンボは旧ソビエト連邦で開発され、軍隊格闘技としても発展。柔道とレスリング両方の要素が含まれた格闘技です。



投げ技を決める翔斗さん

小学校1年生の時から始めた柔道を大学でも続けている翔斗さん。柔道部では練習の一環としてサンボを取り入れていることから、柔道で更に強くなるために新しい技術を習得したいと考えサンボにも力を入れているそうです。

サンボを始めて最初の大会となった西日本大会では不甲斐ない結果に終わり、顧問の先生から「柔道が強い奴は何でも強い」と言われたことで発奮し、全日本選手権大会の決勝戦では大学の先輩に勝利しての優勝となりました。柔道を通じて、日本一は初めてで、「素直にうれしかったです」と笑顔で話してくれました。

サンボは柔道で禁止手の足取りや足関節を狙うこともでき技の種類が多いので、それを自分の技術に取り入れることで柔道でも活用できる点がよく、逆に自分の知らない技も多く、それに対する防御が難しいとのこと。今後アジア大会や世界選手権への出場資格もあり、柔道と二刀流での活躍が期待される翔斗さんに注目です。

平井 紗久良さくらさん
小坂
小6・おひつじ座

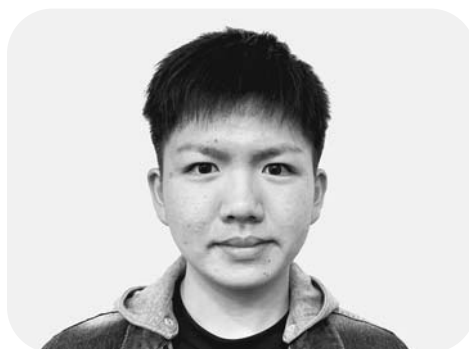
柔道

山田 輝紘きづなさん
下竹田
高1・ふたご座

のびざかり!



文武両道



「一生懸命練習してきた『内股』で優勝を決めたことがとても嬉しかったです。中学でも柔道を通じて、いずれは世界で活躍し、誰にも負けない強い選手になりたいです」と笑顔で話してくれました。今後の紗久良さんの成長が楽しみです。

「礼儀や精神的な強さを身に付けてほしい」という親御さんの勧めで小学4年生から柔道をはじめた紗久良さん。向上心がとても強く、茨城県で行われた6年生女子の大会では優勝するだけでなくMVPも獲得したそうです。

「生活に役立つ機械の開発をしたい」という夢のために、大学進学を目指し勉強も頑張る輝紘さんです。

高校の部活動で弓道をはじめた輝紘さん。部活体験で弓を引かせてもらった時の面白さと先輩たちのカッコ良さに惹かれて入部したそうです。

「弓道を始めると自然と集中力がつき、姿勢も良くなりました。儀作法が身に付いてきました。個人でもチームでも県大会で優勝するのが目標です」と話してくれました。部活の仲間との時間が今は一番楽しいそうです。